



2020年7月15日

各位

会社名 サンバイオ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 森 敬太  
(コード番号:4592 東証マザーズ)  
問い合わせ先 執行役員経営管理部長 角谷 芳広  
(TEL.03-6264-3481)

**執行役員及びCTOO(チーフ・テクニカル&オペレーションズ・オフィサー)に  
クリストファー・ホーランが就任**

当社は、本日付で、サンバイオ株式会社の執行役員及び SanBio, Inc.のCTOO(チーフ・テクニカル&オペレーションズ・オフィサー)にクリストファー・ホーラン(Christopher Horan)が就任し、当社グループの業務執行の推進を担うことになりましたので、別添のとおりお知らせします。

以上

## 執行役員及びCTOO(チーフ・テクニカル&オペレーションズ・オフィサー)に クリストファー・ホーランが就任

当社グループ(サンバイオ株式会社及びその子会社である SanBio, Inc.)は、本日(米国時間 2020年7月15日)付けで、サンバイオ株式会社の執行役員及び SanBio, Inc.のCTOO(チーフ・テクニカル&オペレーションズ・オフィサー)にクリストファー・ホーラン(Christopher Horan)が就任し、当社グループの業務執行の推進を担うことになりましたので、お知らせします。

同氏は、ニュージャージー州のステューブンス工科大学で工学の学士号を取得し、これまで大手製薬企業の Merck & Co., Inc.(以下、Merck & Company)や Genentech, Inc.(以下、Genentech)及びバイオベンチャーの Dermira, Inc.(以下、Dermira)に勤め、CTOO等の要職を経験してきました。Merck & Companyでは、エンジニアリング、製造、オペレーショナルエクセレンスの各部門でグローバルな役割を担っていました。Genentechでは、グローバル製品・サプライチェーン管理担当上級副社長を務め、全世界のロシュバイオファーマ製品を供給するチームを率いていました。直近では、Dermiraで2年間、CTOOとして、同社初の商業製品の立ち上げ、モノクローナル抗体である lebrikizumab の第3相臨床試験と商業申請に向けた準備、2020年初頭の Eli Lilly 社による買収の成功をサポートするために、高いパフォーマンスを発揮するチームの育成に従事しました。

現在、当社グループでは、日本の SB623 慢性期外傷性脳損傷プログラムにおいて、2021年1月期(2020年2月～2021年1月)中に、再生医療等製品としての製造販売の承認申請を目指しており、グローバルでは SB623 慢性期外傷性脳損傷プログラムフェーズ3臨床試験を2021年1月期末までに開始する計画としています。新たに創設されたCTOOという役職で、クリストファー・ホーランは、サンバイオが外傷性脳損傷の治療薬として日米で SB623 を申請する準備を進め、再生細胞医薬品のパイプライン開発を進める中で、医薬品、プロセス・分析開発、サプライチェーン、受託製造、品質を監督します。

今回の就任を受けて、クリストファー・ホーランは、以下のように述べています。「SB623の申請と発売の可能性に向けて、製造とサプライチェーンの能力を開発し続けており、サンバイオにとって重要な時期に入社できることを大変嬉しく思います。サンバイオの先駆的な科学と患者さんを中心とした企業文化は、私にとって非常にフィットしており、強い魅力を感じています。当社の長期的な成功に貢献できることを楽しみにしています。」

当社代表取締役社長の森敬太は、以下のように述べています。「当社が最初の治療薬を患者さんにお届けする準備をしている重要な時期に、クリスが加わることを嬉しく思います。彼のリーダーシップと幅広い経験は、当社が開発計画を遂行する上での卓越性を保証するものとなるでしょう。」

以上

#### サンバイオ株式会社及び SanBio, Inc.について

サンバイオグループは、再生細胞薬の研究、開発、製造及び販売を手掛ける再生細胞事業を展開しています。当社独自の再生細胞薬である SB623 は、慢性期外傷性脳損傷及び慢性期脳梗塞を含む複数疾患を対象に開発を進めています。東京に本社、カリフォルニア州マウンテンビューに支社を置くサンバイオグループの詳細は、<https://www.sanbio.com>にてご覧いただけます

#### 本件に関するお問い合わせ先

サンバイオ株式会社

経営管理部

メール:[info@sanbio.jp](mailto:info@sanbio.jp)